学校法人三島学園要覧

（令和８年８月現在）

生活文化の向上に寄与する地域に開かれた学園

■東北生活文化大学

□家政学部 家政学科

服飾文化専攻

健康栄養学専攻

□美術学部 美術表現学科

■東北生活文化大学短期大学部

□生活文化学科

食物栄養学専攻

子ども生活専攻

■東北生活文化大学高等学校

□普通科（全日制課程）

未来創造コース

保育コース

進学コース

看護医療コース

□商業科（全日制課程）

情報ビジネスコース

進学ライセンスコース

□美術・デザイン科（全日制課程）

■普通科（通信制課程）

東北生活文化大学短期大学部附属

■ますみ幼稚園

東北生活文化大学短期大学部附属

■ますみ保育園

www.mishima.ac.jp/

目　次

▶建学の精神、校訓 …… 1

▶三島学園理事長挨拶 …… 2

▶三島学園の概要
建学の精神
斎藤實子爵と三島学園 …… 3

▶三島学園の沿革 …… 4

▶三島学園管理運営組織図 …… 6

▶三島学園役員・主な役職者 …… 7

▶令和7年度法人収支状況 …… 8

▶歴代の理事長
キャンパス全体図・面積 …… 9

▶三島学園の変遷 …… 10

▶大学・短期大学部・高等学校・幼稚園・保育園の概略 …… 19

▶アクセス …… 20

建学の精神

高い知識と技倆（ぎりょう）を修め、
常に文化創造に寄与する、
清く、正しく、健やかな人間の育成を目指す

校訓

励（はげ）み、謹（つつし）み、慈（いつくし）み

三島学園理事長挨拶

「学校法人三島学園要覧（令和８年８月現在）」をお届けします。

本学園は、明治 33（1900）年 10 月 6 日に三嶋駒治先生が東北法律学校の設置認可を受け、仙台市東三番町に開校したのが始まりです。夜間で、修業年限は本科が三ヵ年、別科が一ヵ年でのスタートでした。3 年後の明治 36（1906）年 10 月 10 日には、三嶋駒治・よし夫妻が東北女子職業学校の設置認可をうけ、同じ敷地内で開校しました。その後、仙台市清水小路への移転、現在地への移転、校名変更、男女共学化等色々な変遷を経て、現在では、東北生活文化大学、東北生活文化大学短期大学部、東北生活文化大学高等学校、東北生活文化大学短期大学部附属ますみ幼稚園及び東北生活文化大学短期大学部附属ますみ保育園を有する総合学園として発展してきました。

グローバル化、少子高齢化の進展、新興国の台頭などによる競争激化、情報通信技術の目覚ましい発展等の社会経済状況の変化により大規模な教育改革が推進されております。日本では、「人生 100 年時代」に、すべての国民が元気に活躍し続けられる社会を実現しようと「人づくり革命」に乗り出しています。

人づくり革命では、幼児教育の無償化、待機児童の解消、高等教育の無償化、私立高校の授業料実質無料化、保育士・介護人材の処遇改善、大学改革、リカレント教育、高齢者雇用促進等主に教育を中心とした政策が実施されております。

本学園では、これらの社会の要請に応えるため、それぞれの教育機関の充実を図っていくこととしております。令和 4 年 3 月には、隣接する東日本放送株式会社の跡地及び旧社屋を購入しており、主に大学美術学部及び高校通信制課程が使用しています。

また、高校では、柔軟な学習スタイルや個々のニーズに合わせた教育を提供することが可能な通信制課程を令和 7 年 4 月 1 日に開設しております。

令和 7 年に私立学校法が改正され、我が国の公教育を支える私立学校が、社会の信頼を得て、一層発展していくため、社会の要請に応え得る実効性のあるガバナンス改革を推進することとされ、幅広い関係者の意見の反映、逸脱した業務執行の防止を図るため、理事、監事、評議員及び会計監査人の資格、選任及び解任の手続等並びに理事会及び評議員会の職務及び運営等の学校法人の管理運営制度に関する規定や、理事等の特別背任罪等の罰則について定められました。学園としては、体制を整備して取り組んでいるところです。

本要覧が、学園内の教職員はもちろんのこと、学園外の皆様方にとって何がしかの参考になれば幸いです。さらには、本学園の教職員の活性化につなげるためにも、本要覧をご覧になられた皆様方からのご批判やご意見を賜ればと願っております。

学校法人三島学園理事長
大　庭　　清

虹の丘キャンパスより双葉ヶ丘キャンパスへの遊歩道

双葉ヶ丘キャンパス（大学 7 号館）

三島学園の概要

三島学園は、東北生活文化大学、東北生活文化大学短期大学部、東北生活文化大学高等学校、短期大学部附属ますみ幼稚園、短期大学部附属ますみ保育園の五つの教育及び保育機関を擁する総合学園であります。明治 33（1900）年三島駒治・よし夫妻による東北法律学校、3 年後の東北女子職業学校開校を礎に、時代の要請と地域の期待に応えて改革を重ね、現在の学園へと発展してきました。

初めは当時の仙台市東三番丁、次いで仙台市の中心部に近い仙台市清水小路に誕生しましたが、規模拡大に伴って、大学、短大、高校は昭和 49 年 12 月に風光明媚な現在地・仙台市泉区虹の丘一丁目（当時：泉市上谷刈）に移転し、仙台市太白区向山にある幼稚園及び保育園と共に二つのキャンパスを形成しており、その後、令和 4 年 3 月に隣接地に所在した東日本放送株式会社の跡地及び旧社屋を購入して双葉ケ丘キャンパスと、三つのキャンパスを有しております。

激動の 20 世紀を歩みつつ、創立 120 有余年の歴史を誇り、実学重視の教育を通じて地域文化の向上に寄与することを建学の精神とし、生活に密着した人材の育成を使命として多くの有為な人材を世に送り出して参りました。

21 世紀に入り、社会が高度化・多様化・グローバル化へと歩み続ける中、知識基盤社会への構築を目処に、教育に課せられた問題は多岐にわたり、教育機関としての責務はますます大きくなっております。そのことを自覚しつつ、学園全体の教育内容の改善・充実に努めながら、大学・短大部門では「家政、服飾、健康栄養、美術、食物栄養、保育等の専門分野の教育と研修」を、高校部門では「基礎と基本を大切にし、一人ひとりの多様な個性や能力・才能を尊重し、その価値を認めて最大限に伸ばす教育」を、幼稚園・保育園では「一人ひとりの良さをさらに伸ばしつつ、たのしく、やさしく、たくましく、調和の取れた子どもを育成するための教育」を、それぞれ力点において教育活動を続けております。

本学園は、これらの専門知識の教育と豊かな人間形成を通じて、必ずや地域の生活文化に寄与する人材の育成に貢献できるものと自負しております。

建学の精神

本学園の建学の精神は、学園創設時における創立者の教育精神、すなわち、実学教育による地域の生活文化の向上であります。この教育精神に基づいて、わが国教育の振興改善と人材育成に寄与するため、大学・短大の創設においては「高い知識と技倆を修め、常に文化創造に寄与する、清く、正しく、健全な人間の育成を目指す」を建学の精神に掲げ、高校の創設においては「実学を重んじ、個性の伸長と清く正しく礼節を大切にした人格円満な人間を育成し、もって地域社会の発展に貢献する」を建学の精神に掲げ、共に学園創設時の創立者の教育精神をゆるぎなく堅持して今日に及んでおります。また、創立者の教えの言葉「励み（はげ）　謹み（つつし）　慈み（いつくし）」は校訓として学内の石碑に収められ、校歌にも謳われております。

斎藤實（まこと）子爵と三島学園

第 30 代 内閣総理大臣（1932 年 5 月～ 1934 年 7 月）を務めた斎藤實・子爵は、岩手県水沢町（現奥州市水沢区）の出身で、三島よし先生とは又従兄弟に当たる親戚関係にあったため、三島両先生が仙台に東北法律学校、東北女子職業学校を創設した当初から、両先生への支援を惜しまず、物心両面で両先生を激励し続け、大正 13 年から昭和 11 年にわたり学園の設立者にも就任くださって学園の発展に多大の貢献をされました。三島両先生はこの恩義に報いるため、昭和 11 年の 2・26 事件により子爵が亡くなられた後、子爵と学園との深い絆が学園に学ぶ全ての人々に永久に記憶されることを願って、昭和 11 年 7 月 24 日に子爵の胸像が建てられました。

学園内に設置されている
創立者三島駒治・よし両先生と
学園の恩人齋藤實子爵の胸像

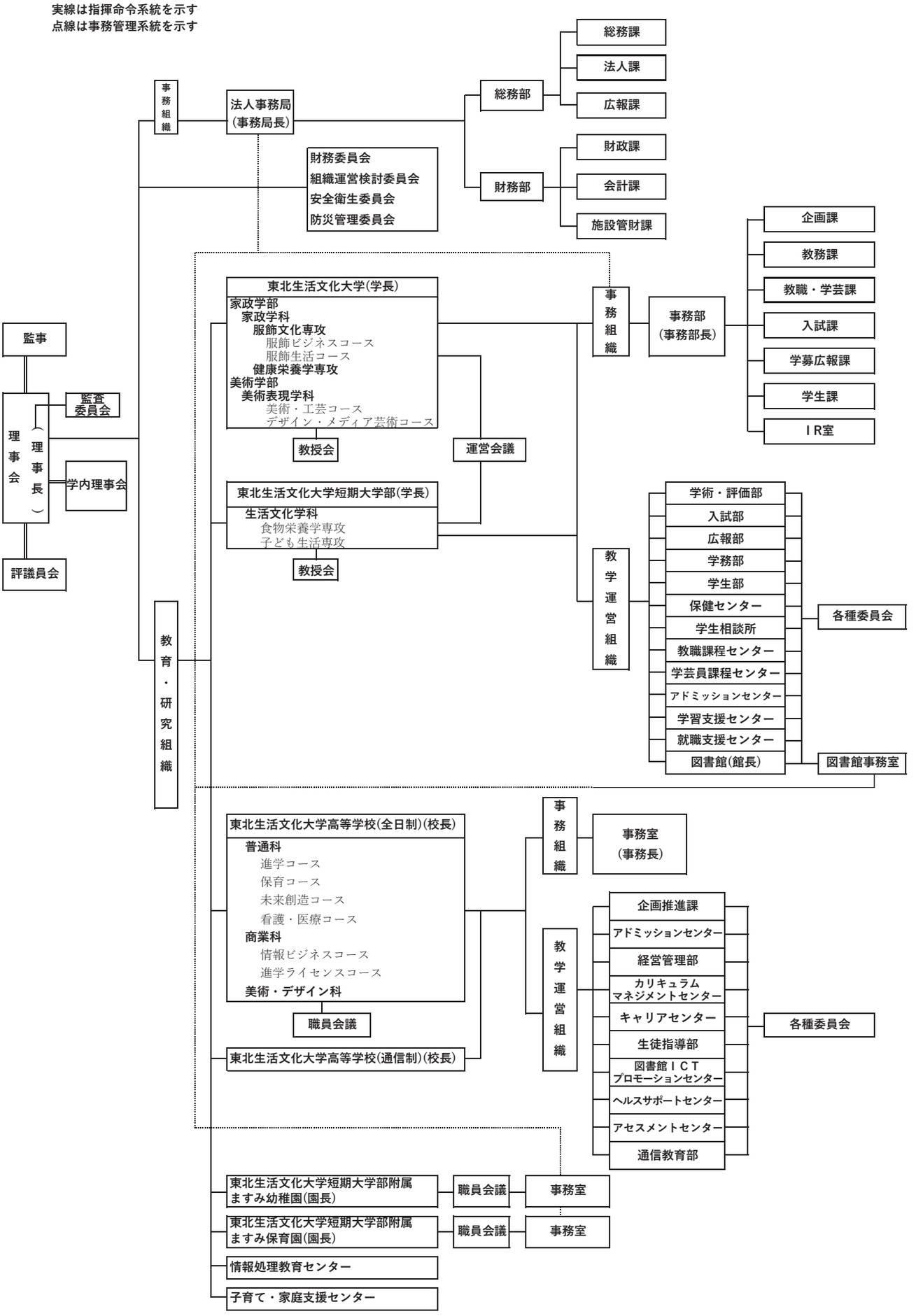
三島学園の沿革

明治３３年１０月　６日：三島駒治先生、宮城県知事から東北法律学校設置認可「(夜間)、修業年限：本科（３年）別科（１年)」を受ける。
明治３３年１０月２８日：東北法律学校、仙台市東三番丁１４３番地に開校する。
明治３６年１０月１０日：東北女子職業学校設置「本科（修業年限２年)・別科（修業年限２年)・高等研究科（修業年限６ヶ月)」認可される。
明治３６年１０月２７日：教育勅語を奉戴し、創立記念日と定める。
明治３８年　４月　　：東北女子職業学校高等研究科を高等研究科本科及び別科に分け、家政科、家庭商業科、裁縫師範科、裁縫専攻科の４コースを設置する。修業年限を１年とする。
明治４３年　４月　　：東北女子職業学校に速成科（修業年限１年）を設置（４つめの科）する。
大正　２年　９月　　：仙台市清水小路３番地への移転を完了する。
大正１１年　３月３１日：東北帝国大学に法文学部が設置され、使命が達成されたとして東北法律学校を廃止する。
大正１３年　３月１０日：東北女子職業学校の高等研究科を廃止し、師範科及び専攻科を設置する。
東北女子職業学校速成科を選科に改称する。
大正１３年　５月１３日：東北女子職業学校は職業学校規程に基づく実業学校となる。
大正１３年　７月１６日：設立者を、三島よし及び齋藤實・子爵とする名義変更が文部大臣から認可される。
大正１５年　３月　９日：東北女子職業学校に高等師範科（修業年限３年）の設置認可を受ける。
昭和　５年　４月２１日：東北女子職業学校に商業本科（修業年限２年)、商業専修科（修業年限１年)、師範研究科（修業年限１年）及び高等師範研究科（修業年限１年）設置認可を受ける。
昭和　６年　１月２３日：東北女子職業学校師範研究科を師範専修科に、高等師範研究科を高等師範専修科に改称する。
昭和　６年１０月２８日：東北女子職業学校専攻科を、専攻科第一部（和裁専攻）及び専攻科第２部（洋裁専攻）への改組が認可される。
昭和　９年　３月　１日：東北女子職業学校に別科の廃止、本科の修業年限４年への改正、選科を裁縫専修科に改称及び専攻科第一部と専攻科第二部を統合し専攻科への改組が認可される。
昭和１３年　９月１６日：設立者を、三島駒治及び三島よしとする名義変更が文部大臣から認可される。
昭和１４年　３月３１日：東北女子職業学校に洋裁科の設置及び本科の第一部（尋常小学校就業者の受け入れ、修業年限４年）及び第二部（高等小学校卒業生を受け入れ、修業年限２年）への改組を認可される。
昭和１５年　３月２５日：文部大臣から財団法人三島学園設立の認可を受ける。理事長：三島駒治
昭和１９年　４月１５日：中等学校令及び実業学校規程により東北女子職業学校を東北女子実業学校と改称する。本科以外の各科を廃止する。新たに専攻科第一部（旧高等師範科)、専攻科第二部（旧専攻科）を設置する認可を受ける。
昭和２０年　４月　　：東北女子実業学校に特設専攻科を設置する。８月の終戦により廃止する。
昭和２２年　３月３１日：三島学園女子専門学校（被服科、修業年限三カ年）の設置認可を受ける。学制改革により東北女子実業学校を三島学園女子中学校に切り替える。
(専攻科第一部は三島学園女子専門学校に改組する。専攻科第二部は専攻科と名称変更する。)
昭和２３年　３月３１日：学制改革により三島学園女子高等学校（普通科）の設置認可、東北女子実業学校を廃止する。
昭和２３年　４月　１日：三島学園女子高等学校に専攻科洋裁科（修業年限１年）を設置する。
昭和２４年　４月　１日：三島学園女子高等学校に美容科（別科、修業年限１年）を設置する。
別科・専修科（修業年限２年）を設置する。
昭和２５年　１月１９日：三島学園女子高等学校美容科が厚生大臣から美容師養成機関の認可を受ける。
昭和２６年　２月２２日：財団法人三島学園を学校法人三島学園に改組する。理事長：佐藤　斧
昭和２６年　２月２７日：三島学園女子短期大学の設置認可を受ける。６月３日、開学式を挙行する。
昭和２６年　３月３１日：三島学園女子専門学校を廃止する。
昭和２７年　３月２７日：三島学園女子高等学校専攻科を三島学園女子短期大学別科とする設置認可を受ける。
昭和２７年　４月　１日：三島学園女子高等学校に夜間の定時制高校（修業年限４年）を設置する。
昭和２９年　４月　１日：三島学園女子短期大学に第二部（夜間２年制）及び別科被服専修第二部（夜間１年制）を設置する。
昭和３０年　３月３１日：三島学園女子短期大学家政専攻科（１年制）を設置する。
昭和３０年　４月３０日：三島学園女子短期大学附属眞澄（ますみ）幼稚園（仙台市向山大窪谷地１０２）設置の認可を受ける。同年５月２８日、開園式を挙行する。
昭和３３年　１月１０日：三島学園女子大学家政学部家政学科の設置認可を受ける。同年、６月３日開学式を挙行する。
昭和３３年　３月３１日：三島学園女子短期大学別科被服専修第一部を廃止する。
昭和３７年　４月　１日：三島学園女子短期大学に体育科を開設する。
昭和３８年　３月３１日：三島学園女子短期大学別科被服専修第二部（夜間１年制）を廃止する。
昭和４０年　４月　１日：三島学園女子大学家政学部に生活理学科、生活美術学科を設置する。
昭和４３年　４月　１日：三島学園女子高等学校に商業科を開設する。
昭和４４年　３月　３日：三島学園女子短期大学附属丸田山ますみ幼稚園設置認可を受ける。同年４月１日開園する。
昭和４５年　３月３１日：三島学園女子中学校を廃止する。
昭和４７年　３月３１日：三島学園女子大学家政学部生活理学科の学生募集を停止する。
昭和４９年　４月　１日：三島学園女子短期大学体育科廃止届出、受理される。
昭和４９年１２月　２日：三島学園女子大学・三島学園女子短期大学・三島学園女子高等学校、仙台市清水小路三番地より泉市上谷刈字東伐生１４番地（現校地）に全面移転を完了する。
昭和５１年　３月３１日：三島学園女子大学家政学部生活理学科の廃止届出、受理される。
昭和５５年　４月　１日：学園の所在地の表示、泉市虹の丘一丁目十八番地の二に地籍を変更する。
昭和５６年　４月　１日：三島学園女子短期大学附属丸田山ますみ幼稚園の名称を三島学園女子短期大学附属虹の丘ますみ幼稚園と改称する認可がされる。
昭和５７年　９月３０日：三島学園女子短期大学家政科二部の廃止認可を受ける。
昭和５９年　９月　　：三島学園女子短期大学に第二部（夜間２年制）を廃止する。
昭和６２年　４月　１日：三島学園女子大学の名称を東北生活文化大学に改称認可され、男女共学制に移行する。
昭和６２年　４月　１日：三島学園女子短期大学附属ますみ幼稚園、三島学園女子短期大学附属虹の丘ますみ幼稚園の名称を、それぞれ「ますみ幼稚園」、「虹の丘ますみ幼稚園」と改称する。
昭和６３年　４月　１日：仙台市と泉市の合併により、所在地の表示を仙台市虹の丘一丁目十八番地の二に地籍を変更する。
平成 元 年　４月　１日：仙台市の政令指定都市移行に伴い、所在地の表示を仙台市泉区虹の丘一丁目十八番地の二に地籍を変更する。
平成　２年１０月　６日：三島学園創立９０周年記念式典を挙行する。
平成　４年　９月２２日：三島学園女子高等学校美容科（別科)、平成５年度生徒募集停止を届け出る。

平成　５年　３月３１日：三島学園女子高等学校美容科（別科）を廃止する。
平成　７年　９月２３日：虹の丘ますみ幼稚園、園児募集を停止する。
平成　９年　４月　１日：虹の丘ますみ幼稚園、休園とする。
平成１０年　３月３１日：虹の丘ますみ幼稚園を廃止する。
平成１０年　４月　１日：三島学園女子高等学校普通科に、「生活文化コース」、「総合教養コース」及び「進学コース」を設置する。
平成１２年１０月２７日：創立百周年記念式典を挙行する。
平成１３年　１月１７日：「一世紀にわたり生活に密着した教育と人材の育成に寄与」により河北文化賞を受賞する。
平成１３年　２月２７日：三島学園女子高等学校が文部科学省及び総務省から「次世代ＩＴを活用した未来型教育研究開発事業」の指定校に登録される。
平成１３年　４月　１日：三島学園女子短期大学の家政学科を生活文化学科に改称する。
平成１３年　４月　１日：仙台圏大学圏の単位互換制度が発足する。
平成１３年　４月　１日：三島学園女子高等学校普通科に「美術コース」を設置する。
平成１４年　４月　１日：三島学園女子高等学校普通科に「保育コース」を設置する。
平成１５年　４月　１日：三島学園女子高等学校を東北生活文化大学高等学校と改称し、男女共学制を導入する。
東北生活文化大学高等学校商業科を「情報ビジネスコース」、「経営デザイン」の２コースに編成する。
平成１５年　４月　１日：東北生活文化大学家政科学部家政学科に「家政学専攻」と「健康栄養学専攻」を設置する。
健康栄養学専攻は、厚生労働大臣から栄養士及び管理栄養士の養成施設として認可される。
平成１６年　４月　１日：三島学園女子短期大学を東北生活文化大学短期大学部と改称し、男女共学制を導入する。
平成１６年　４月　１日：東北生活文化大学高等学校商業科が文部科学省から「教育改革推進モデル事業」の指定校に登録される。
平成１６年　４月　１日：ますみ保育園を開園し、ますみ幼稚園に併設する。
平成１７年　４月　１日：東北生活文化大学短期大学部生活文化学科に「生活学専攻」と「子ども生活専攻」を設置する。厚生省労働大臣から保育士養成施設として認可される。
平成１８年　４月　１日：東北生活文化大学短期大学部生活文化学科子ども生活専攻が幼稚園二種免許の課程として認可される。
子育て・家庭センターを開設する。
平成１９年　４月　１日：東北生活文化大学家政学部家政学科「家政学専攻」を「服飾文化専攻」に改称する。
平成２０年　３月１９日：東北生活文化大学が「高等教育評価機構が定める大学評価基準を満たしている」と認定される。
平成２０年　８月　２日：東北生活文化大学５０周年記念式典及び祝賀会を挙行する。
平成２２年　３月１７日：三島学園産学連携協議会が発足する。
平成２２年　３月１８日：東北生活文化大学短期大学部が、「財団法人短期大学基準協会が定める第三者評価基準を満たしている。」と認定される。
平成２３年　３月１１日：東日本大震災の発災により建物設備が甚大な被害を受ける。
平成２３年　４月　１日：東北生活文化大学高等学校普通科の「進学コース」を「総進コース」及び「啓進コース」に改編する。
東北生活文化大学家政学部生活美術学科に、アートな職人コース、アートインストラクターコース、アーティストコース、デザイナーコースを設置する。
東北生活文化大学短期大学部生活学専攻にフードエンタテイメントコースを設置する。
平成２５年　４月　１日：東北生活文化大学短期大学部に食物栄養学専攻を設置する。
同専攻は厚生労働大臣から栄養士養成施設の認可を受ける。
平成２５年　４月　１日：東北生活文化大学高等学校に美術・デザイン科を設置する。
東北生活文化大学高等学校普通科の「総進コース」、「啓進コース」を「進学コース」、「特別進学コース」に改称する。
東北生活文化大学高等学校商業科の「経営デザインコース」を「進学ライセンスコース」に改称する。
平成２５年　４月　１日：ますみ幼稚園、ますみ保育園の名称を、東北生活文化大学短期大学部附属ますみ幼稚園、東北生活文化大学短期大学部附属ますみ保育園に改称する。
平成２６年　３月１１日：東北生活文化大学が、「日本高等教育機構が定める大学評価基準に適合している」と認定される。
平成２６年　３月３１日：東北生活文化大学短期大学部生活文化学科生活学専攻を廃止する。
平成２７年　４月　１日：東北生活文化大学家政学部家政学科服飾文化専攻の入学定員を、３０名から２８名に変更して、健康栄養学専攻３年次編入学定員２名とした。
平成２８年　３月１０日：東北生活文化大学短期大学部が「高等教育評価機構が定める大学評価基準を満たしている」と認定される。
平成２９年　４月　１日：東北生活文化大学高等学校の普通科「総合教養コース」と「生活文化コース」を統合し「未来創造コース」を設置する。
平成３０年　７月２０日：東北生活文化大学美術学部美術表現学科設置計画が受理される。
平成３０年１０月１７日：東北生活文化大学及び東北生活文化大学短期大学部と仙台市教育委員会との間で連携協力に関する協定書を締結する。
平成３０年１２月１９日：上越教育大学と東北生活文化大学における上越大学大学院学校教育研究科への学生受け入れ及び学生支援に関する覚書を取り交わす。
平成３１年　１月１６日：東北生活文化大学及び東北生活文化大学短期大学部と宮城県教育委員会との間で包括連携協力に関する協定書を締結する。
平成３１年　４月　１日：東北生活文化大学美術学部美術表現学科を設置する。
令和　元年　９月２０日：東北生活文化大学及び東北生活文化大学短期大学部が、文部科学省から大学等における就学の支援に関する法律第７条第２項に掲げる要件を満たしている旨の確認を受ける。
令和　３年　３月３１日：東北生活文化大学は、公益財団法人日本高等教育評価機構による機関別認証評価で適合認定を受けられず。
令和　４年　３月１０日：三島学園と株式会社東日本放送跡地との間に存在する緑地帯を購入する。
令和　４年　３月３１日：株式会社東日本放送の跡地及び社屋を購入する。
令和　４年　４月　１日：東北生活文化大学高等学校普通科に看護医療コース（定員３０名）を設置する。
令和　４年１２月２６日：株式会社東日本放送旧社屋を大学７号館と命名し、東北生活文化大学美術学部の授業を開始する。
令和　５年　３月１０日：東北生活文化大学短期大学部は、一般財団法人大学・短期大学基準協会による機関別認証評価で「協会が定める短期大学評価基準を満たしている。」との適格の認定を受ける。
令和　５年　３月１４日：東北生活文化大学は、公益財団法人日本高等教育評価機構による機関別認証評追価で「機構が定める大学評価基準に適合している。」との適合認定を受ける。
令和　５年　３月３１日：東北生活文化大学高校普通科特別進学コースを廃止する。
令和　５年　４月　１日：東北生活文化大学短期大学部附属ますみ幼稚園は、仙台市からの確認を得て、施設型給付費の支給に係る施設となる。
令和　７年　４月　１日：東北生活文化大学高校通信制課程（普通科、募集人員１００名）を設置する。
令和　８年　１月２５日：理事会において、東北生活文化大学短期大学部の令和９年度入学者からの募集停止を決定する。

三島学園管理運営組織図（令和８年５月１日現在）

実線は指揮命令系統を示す
点線は事務管理系統を示す



三島学園役員・主な役職者（令和８年９月１日現在）

理事長
　大庭　清
理事（大学・短大・幼稚園・保育園担当）
　前田昌彦
理事（高校担当）
　佐々木武弘
理事（財務担当）
　長井孝行
理事（広報・ダイバーシティ担当）
　丹羽　裕（学外者）
理事（地域連携・歴史資料管理担当）
　有川幾夫（学外者）
理事（経営基盤強化担当）
　曽根敬司（学外者）
理事（教育改革担当）
　駒井三千夫（学外者）
監事
　光井　正
監事
　真田昌行

評議員／鈴木裕行
評議員／三上秀夫
評議員／松尾　広
評議員／油井康浩
評議員／稲邊真由美
評議員／井上美紀
評議員／千葉めぐみ
評議員／三浦真由美
評議員／藤川幸子
評議員／佐々木崇哉
評議員／近江恵美子
評議員／赤坂正弘
評議員／小川克也
評議員／庄子明宏
評議員／宮澤利彰
評議員／佐藤一郎
評議員／佐藤淳一

【法人事務局】
事務局長／長井孝行
総務部長／信坂　健
総務課長／信坂　健
法人課長／長井孝行
広報課長／長井孝行
財務部長／後藤　固
財政課長／後藤　固
会計課長／後藤　固
施設管財課長／後藤　固

【大学】
学長／前田昌彦
副学長／鈴木裕行
家政学部長／栗山孝雄
家政学科長／栗山孝雄
服飾文化専攻主任／川又勝子
健康栄養学専攻主任／伊藤常久
美術学部長／三上秀夫
美術表現学科長／鈴木　専

【短期大学部】
学長／前田昌彦
生活文化学科長／松尾　広
食物栄養学専攻主任／益田裕司
子ども生活専攻主任／廣瀬　団

【大学・短大の共通組織】
学術・評価部長／佐藤靖子
入試部長／栗山孝雄
広報部長／伊藤常久
学務部長／鈴木裕行
学生部長／鈴木　専
図書館長／伊藤常久
保健センター長／柏倉潤子
学生相談所長／永沼孝子
アドミッションセンター長／栗山孝雄
ＩＲ室長／鈴木裕行

【大学・短大の事務部】
事務部長／白﨑隆典
企画課長／白﨑隆典
教務課長／熊谷武志
教職・学芸課長／松田知子
入試課長／大石正芳
学募広報課長／大石正芳
学生課長／三浦義雄
アドミッションオフィサー／千葉卓也

【高等学校（全日制課程）】
高等学校長／佐々木武弘
教頭／油井康浩
教頭／吉本世一
現職教育指導主事／今野　隆
現職教育指導主事／森　和子
入試広報指導主事／今野　隆
入試広報指導主事／森　和子
普通科長／梅津　隆
商業科長／阿部博之
美術・デザイン科長／倉本郁哉
企画推進部長／吉田潤一
アドミッションセンター長／橋本和明
経営管理部長／小笠原智美
カリキュラムマネジメントセンター長／菅原陽子
キャリアセンター長／泉田輝彦
生徒指導部長／伊藤久志
図書ＩＣＴプロモーションセンター長／藤澤大輔
ヘルスサポートセンター長／佐藤みゆき
アセスメントセンター長／志摩有亮
３学年部会部長／志摩有亮
２学年部会部長／三浦まみ
１学年部会部長／佐藤幸広
事務長／畠山浩美

【高等学校（通信制課程）】
高等学校長／佐々木武弘
教頭／油井康浩
教頭／吉本世一
通信教育部長／上泉洋介

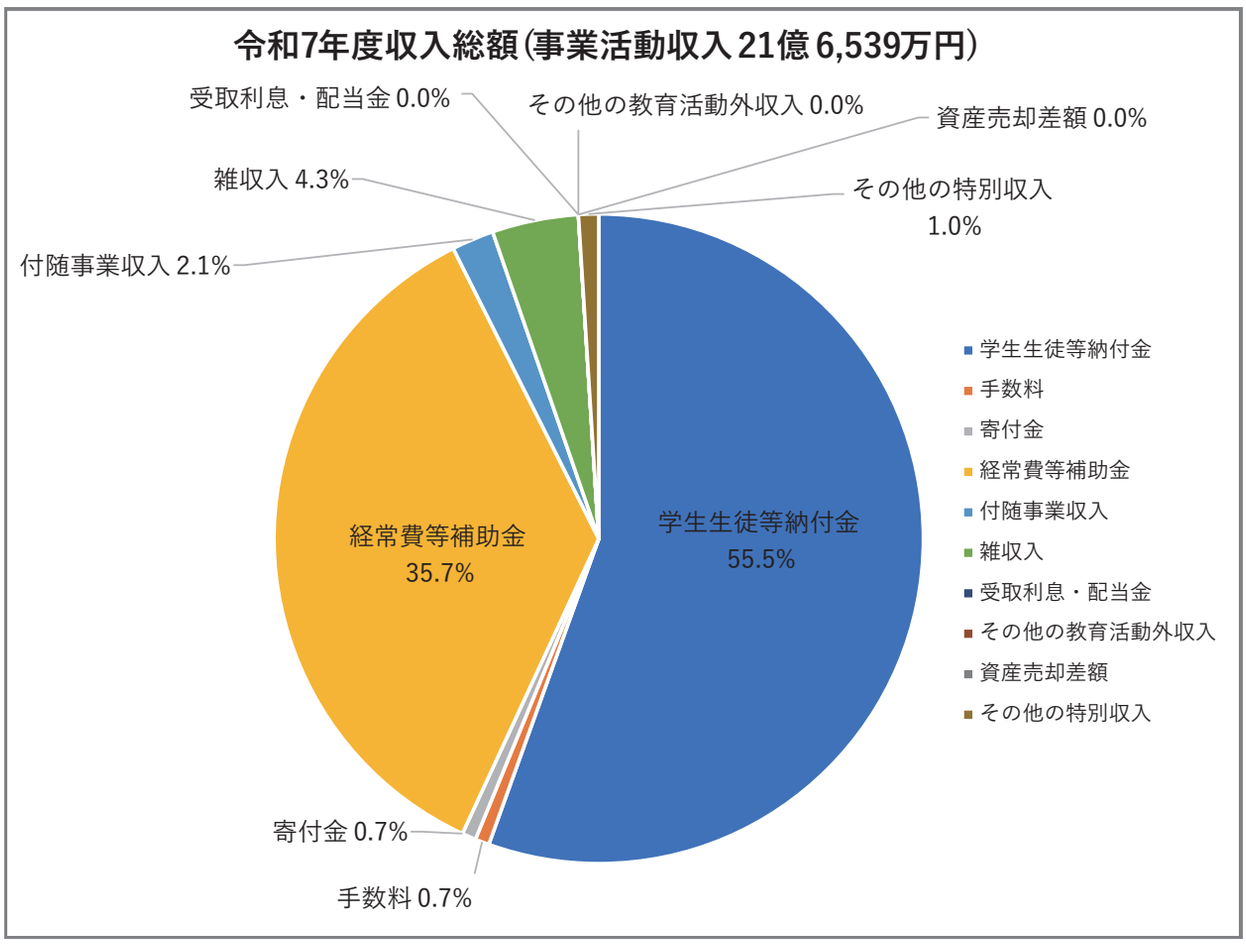
【幼稚園】
幼稚園長／武田早苗
教頭／武田ひろみ
主事／神林美香

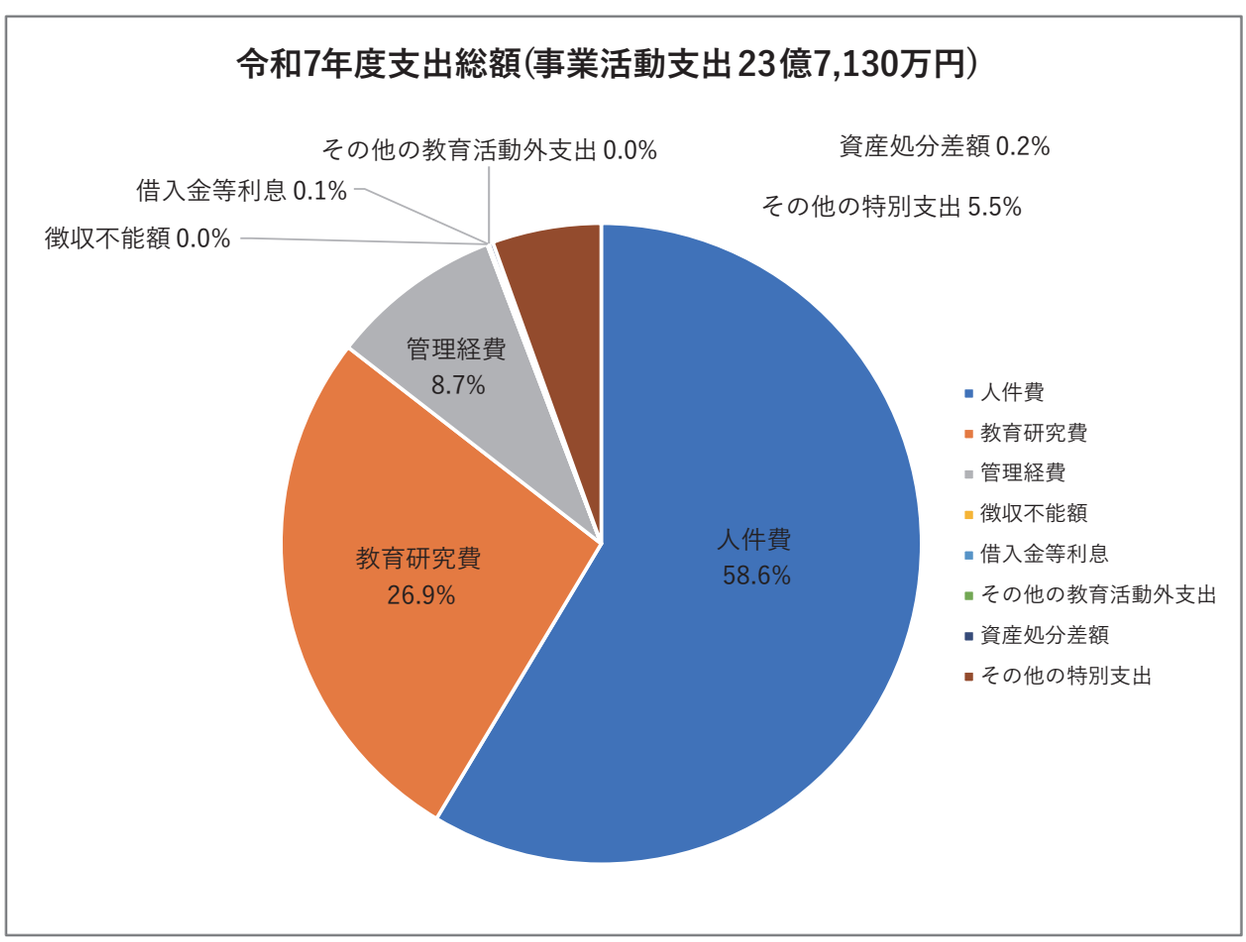
【保育園】
保育園長／稲邉眞由美
副園長／今野理絵
会計責任者／神林美香

【情報処理教育センター】
情報処理教育センター長／松尾　広

【子育て・家庭支援センター】
子育て・家庭支援センター長／高橋恵美

令和７年度法人収支状況





歴代の理事長

■東北法律学校

昭和３３年１０月２８日	～	大正１１年　８月２９日	校　主	三　島　駒　治

■東北女子職業学校

昭和３６年１１月１１日	～	昭和１５年　３月２４日	校　主	三　島　駒　治
昭和３６年１１月１１日	～	昭和１８年　９月　３日	校　長	三　島　よ　し

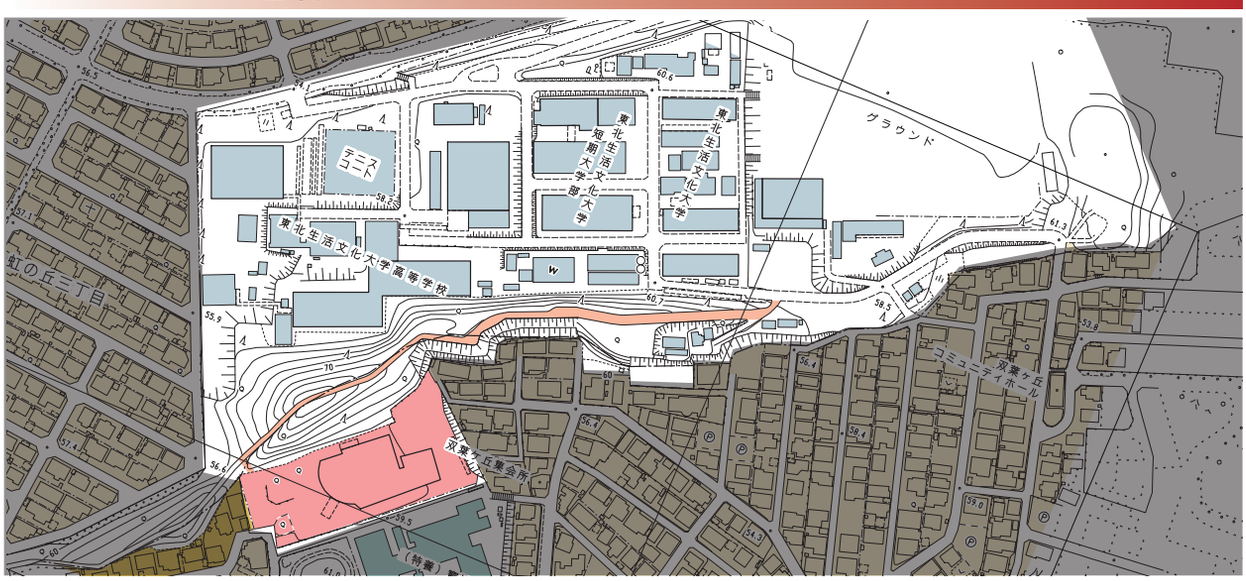
■財団法人三島学園

昭和１５年　３月２５日	～	昭和１７年　１月　３日	理事長	三　島　駒　治
昭和１７年　１月　３日	～	昭和２５年　１月　８日	理事長	三　島　よ　し
昭和２５年　１月　８日	～	昭和２６年　２月２１日	理事長	佐　藤　　兗

■学校法人三島学園

昭和２６年　２月２２日	～	昭和４４年　３月３１日	理事長	佐　藤　　兗
昭和４４年　４月　１日	～	昭和４６年　３月３１日	理事長	佐　藤　直　助
昭和４６年　４月　１日	～	昭和４７年　６月１６日	理事長	佐　藤　　兗
昭和４７年　６月１７日	～	昭和６２年　３月３１日	理事長	佐　藤　直　助
昭和６２年　４月　１日	～	平成　９年　３月３１日	理事長	上　田　欣　彌
平成　９年　４月　１日	～	平成１３年　９月３０日	理事長	佐々木　菊　見
平成１３年１０月　１日	～	平成２０年　６月３０日	理事長	池　上　雄　作
平成２０年　７月　１日	～	平成３１年　４月２１日	理事長	浅　尾　豊　信
平成３１年　４月２２日	～	令和　元年　５月２５日	理事長代行	浅　尾　豊　信
令和　元年　５月２５日	～	現在	理事長	大　庭　　清

キャンパス・建物



◎土地

〔虹の丘キャンパス：仙台市泉区虹の丘１丁目 18-2〕…108,868m²

○建物等

【百周年記念棟】…2,236m²

〔事務局・記念ホール等〕

【80 周年記念棟】… 582m²

〔音楽室・レッスン室・練習室・プレイルーム・子育て家庭支援センター〕

【東北生活文化大学】…11,746m²

〔1 号館、2 号館、3 号館、4 号館（給食経営管理 実習棟・学生食堂）、5 号館、6 号館、実験棟、新体育館、図書館、窯業場、造形演習工房、壁画工房、クラブハウス〕

【東北生活文化大学短期大学部】…4,661m²

〔短大棟、短大新体育館〕

【東北生活文化大学高等学校】…14,194m²

〔校舎Ａ棟（普通教室，職員室，図書室，実験室，コンピュータ室）、校舎Ｂ棟（普通教室・特別教室）、校舎Ｃ棟（普通教室，食堂等）、多目的デザインホール、体育館、第１クラブハウス、第２クラブハウス、工芸・陶芸教室、生活教育特別実習教室、アトリエ室、デッサン棟、その他〕

【東北生活文化大学高等学校運動施設】…21,855m²

〔弓道場（25m×15m，375m²）、テニスコート２面、グラウンド〕

【同窓会館】…299m²,

【顕彰館】…159m²

◎土地

〔双葉ケ丘キャンパス：仙台市青葉区双葉ケ丘２丁目 9-1〕…10,618m²

○建物

【東北生活文化大学】… 5,886m²

〔7 号館〕

◎土地

〔向山キャンパス：仙台市太白区向山４丁目 26-34〕…5,145m²

【ますみ幼稚園】…534 m²

〔幼稚園舎：４つの教室と遊戯室（ホール）〕

【ますみ保育園】… 409 m²

〔保育園舎：５つの保育室と給食室〕

【共通の園庭】…1,016 m²

敷地内に駐車場を設け、事前に申し込むことにより、保育園に子どもを預け、車を置いて最寄りのバス停、地下鉄を利用して職場へ行くことができる所謂「パーク＆ライドサービス」を行っており、有効に活用されている。

三島学園の変遷

明治３３年１０月　６日　東北法律学校設置認可「（夜間）、修業年限：本科（３年）別科（１年）」

明治３３年１０月２８日　東北法律学校開校

明治３６年１０月１０日　東北女子職業学校設置認可「本科（修業年限２年）・別科（修業年限２年）・高等研究科（修業年限６ヶ月）」

東北女子職業学校		
本科（修業年限２年）	別科（修業年限２年）	高等研究科（修業年限６ヶ月）

明治３８年　４月　東北女子職業学校高等研究科を高等研究科本科及び別科に分け、家政科、家庭商業科、裁縫師範科、裁縫専攻科の４コースを設置する。修業年限を１年とする。

東北女子職業学校			
本科（修業年限２年）	別科（修業年限２年）	高等研究科（修業年限１年）	
		本科	別科
		家政科、家庭商業科、裁縫師範科、裁縫専攻科の４コース	

明治４３年　４月　東北女子職業学校にを設置（４つ目の科）する。

東北女子職業学校				
本科（修業年限２年）	別科（修業年限２年）	高等研究科（修業年限１年）本科・別科		速成科（修業年限１年）

大正１１年　３月３１日　東北帝国大学に法文学部が設置され、使命が達成されたとしてする。

東北法律学校廃止

大正１３年　３月１０日　東北女子職業学校の高等研究科を廃止し、師範科及び専攻科を設置する。
東北女子職業学校速成科を選科に改称する。

東北女子職業学校					
本科（修業年限２年）	別科（修業年限２年）	高等研究科廃止			速成科（修業年限１年）→選科
		高等研究科→師範科	高等研究科→専攻科		

大正１３年　５月１３日　東北女子職業学校は職業学校規程に基づく実業学校となる。

大正１５年　３月　９日　東北女子職業学校に高等師範科（修業年限３年）の設置認可を受ける。

東北女子職業学校					
本科（修業年限２年）	別科（修業年限２年）	師範科	専攻科	選科	高等師範科（修業年限３年）

昭和　５年　４月２１日　東北女子職業学校に商業本科（修業年限２年）、商業専修科（修業年限１年）、師範研究科（修業年限１年）及び高等師範研究科（修業年限１年）設置認可を受ける。

東北女子職業学校									
本科（修業年限２年）	別科（修業年限２年）	師範科	専攻科	選科	高等師範科（修業年限３年）	師範研究科（修業年限１年）	商業科		高等師範研究科（修業年限１年）
							商業本科（修業年限２年）	商業専修科（修業年限１年）	

昭和　６年　１月２３日　東北女子職業学校師範研究科を師範専修科に、高等師範研究科を高等師範専修科に改称する。

東北女子職業学校									
本科（修業年限２年）	別科（修業年限２年）	師範科	専攻科	選科	高等師範科（修業年限３年）	師範研究科→師範専修科	商業科		高等師範研究科→高等師範専修科
							商業本科（修業年限２年）	商業専修科（修業年限１年）	

昭和　６年１０月２８日　東北女子職業学校専攻科を、専攻科第一部（和裁専攻）及び専攻科第２部（洋裁専攻）への改組が認可される。

東北女子職業学校									
本科（修業年限２年）	別科（修業年限２年）	師範科	専攻科		選科	高等師範科（修業年限３年）	師範専修科	商業科		高等師範専修科
			→専攻科第一部（和裁専攻）	→専攻科第二部（洋裁専攻）				商業本科（修業年限２年）	商業専修科（修業年限１年）	

昭和　９年　３月　１日　東北女子職業学校に別科の廃止、本科の修業年限４年への改正、選科を裁縫専修科に改称及び専攻科第一部と専攻科第二部を統合し専攻科への改組が認可される。

東北女子職業学校									
本科（修業年限４年に改正）	別科…廃止	師範科	専攻科	選科→裁縫専修科	高等師範科（修業年限３年）→高等師範専修科	師範研究科（修業年限１年）→師範専修科	商業科		高等師範専修科
			専攻科第一部（和裁専攻）、専攻科第２部（洋裁専攻）→専攻科				商業本科（修業年限２年）	商業専修科（修業年限１年）	

昭和１４年　３月３１日　東北女子職業学校に洋裁科の設置及び本科の第一部（尋常小学校就業者の受け入れ、修業年限４年）及び第二部（高等小学校卒業生を受け入れ、修業年限２年）への改組を認可される。

東北女子職業学校										
本科		師範科	専攻科	裁縫専修科	高等師範専修科	師範専修科	商業科		高等師範科	洋裁科
本科第一部（修業年限４年）	本科第二部（修業年限２年）						商業本科（修業年限２年）	商業専修科（修業年限１年）		

昭和１５年　３月２５日　財団法人三島学園設立認可

昭和１９年　４月１５日　中等学校令及び実業学校規程により東北女子職業学校を東北女子実業学校と改称する。本科以外の各科を廃止する。新たに専攻科第一部（旧高等師範科）、専攻科第二部（旧専攻科）を設置する認可を受ける。

東北女子職業学校→東北女子実業学校										
本科		師範科…廃止	専攻科→専攻科第二部	裁縫専修科…廃止	高等師範専修科→専攻科第一部	師範専修科…廃止	商業科		高等師範科…廃止	洋裁科…廃止
本科第一部（修業年限４年）	本科第二部（修業年限２年）						商業本科（修業年限２年）…廃止	商業専修科（修業年限１年）…廃止		

東北女子実業学校			
本科第一部（修業年限４年）	本科第二部（修業年限２年）	専攻科第一	専攻科第二

昭和２０年　４月　東北女子実業学校に特設専攻科を設置する。８月の終戦により廃止する。

昭和２２年　３月３１日　三島学園女子専門学校（被服科、修業年限三カ年）の設置認可を受ける。学制改革により東北女子実業学校を三島学園女子中学校に切り替える。

（専攻科第一部は三島学園女子専門学校に改組する。専攻科第二部は専攻科と名称変更する。）

三島学園女子中学校

東北女子実業学校→三島学園女子中学校			
本科第一部（修業年限４年）	本科第二部（修業年限２年）	専攻科第一→三島学園女子専門学校へ	専攻科第二→専攻科

三島学園女子専門学校（被服科、修業年限三カ年）

三島学園女子専門学校
専攻科第一→被服科（修業年限３年）

昭和２３年　３月３１日　学制改革により三島学園女子高等学校（普通科）の設置認可、東北女子実業学校を廃止する。

東北女子実業学校				
本科第一部 …廃止	本科第二部 …廃止			専攻科 …廃止

三島学園女子高等学校
普通科

昭和２３年　４月　１日　三島学園女子高等学校に専攻科洋裁科（修業年限１年）を設置する。

三島学園女子高等学校	
普通科	専攻科洋裁科 （修業年限１年）

昭和２４年　４月　１日　三島学園女子高等学校に美容科（別科、修業年限１年）を設置する。

別科・専修科（修業年限２年）を設置する。

夜間洋裁科（普通科（修業年限６ヶ月）及び研究科（修業年限６ヶ月））を設置する。

三島学園女子高等学校			
普通科	専攻科洋裁科 （修業年限１年）	美容科 （別科、 修業年限１年）	別科・専修科 （修業年限２年）

夜間洋裁科	
普通科 （修業年限 ６ヶ月）	研究科 （修業年限 ６ヶ月）

昭和２６年　２月２２日

財団法人三島学園 →学校法人三島学園

昭和２６年　２月２７日　三島学園女子短期大学の設置認可を受ける。６月３日、開学式を挙行する。

三島学園女子短期大学
被服科

昭和２６年　３月３１日　三島学園女子専門学校を廃止する。

三島学園女子専門学校 …廃止

昭和２７年　３月２７日　三島学園女子高等学校専攻科を三島学園女子短期大学別科とする設置認可を受ける。

三島学園女子短期大学		
三島学園女子 短期大学 被服科		専攻科洋裁科 （修業年限１年） →別科洋裁科 （修業年限１年）

三島学園女子高等学校			
普通科	専攻科洋裁科 →短大別科洋裁科 （修業年限１年）	美容科 （別科、 修業年限１年）	別科・専修科 （修業年限２年）

昭和２７年　４月　１日　三島学園女子高等学校に夜間の定時制高校（修業年限４年）を設置する。

三島学園女子高等学校				
普通科		美容科 （別科、 修業年限１年）	別科・専修科 （修業年限２年）	夜間の定時制高校 （修業年限４年）

昭和２８年１０月　１日　夜間和裁科（普通科（修業年限６ヶ月）及び研究科（修業年限６ヶ月））を設置する。

夜間洋裁科		夜間和裁科	
普通科（修業年限６ヶ月）	研究科（修業年限６ヶ月）	普通科（修業年限６ヶ月）	研究科（修業年限６ヶ月）

昭和２９年　４月　１日　三島学園女子短期大学に第二部（夜間２年制）及び別科被服専修第二部（夜間１年制）を設置する。

三島学園女子短期大学			
被服科→家政科	家政科第二部（夜間２年制）	別科洋裁科（修業年限１年）	別科被服専修第二部（夜間１年制）

昭和３０年　３月３１日　三島学園女子短期大学家政専攻科（１年制）を設置する。

三島学園女子短期大学				
家政科	家政科第二部（夜間２年制）	別科洋裁科（修業年限１年）	別科被服専修第二部（夜間１年制）	家政専攻科（１年制）

昭和３０年　４月３０日　三島学園女子短期大学附属真澄幼稚園（仙台市向山大窪谷地１０２）設置の認可を受ける。同年５月２８日、開園式を挙行する。

三島学園女子短期大学附属真澄幼稚園

昭和３１年　４月　１日　三島学園女子短期大学附属真澄幼稚園の名称をますみ幼稚園に改称する。

三島学園女子短期大学附属真澄幼稚園→三島学園女子短期大学附属ますみ幼稚園

昭和３３年　１月１０日　三島学園女子大学家政学部家政学科の設置認可を受ける。同年、６月３日開学式を挙行する。

三島学園女子大学
家政学部家政学科

昭和３３年　３月３１日　三島学園女子短期大学別科被服専修第一部を廃止する。

三島学園女子短期大学				
家政科	家政科第二部（夜間２年制）	別科洋裁科（修業年限１年）…廃止	別科被服専修第二部（夜間１年制）	家政専攻科（１年制）

昭和３６年　３月３１日　三島学園女子短期大学家政専攻科（１年制）を廃止する。

三島学園女子短期大学				
家政科	家政科第二部（夜間２年制）		別科被服専修第二部（夜間１年制）	家政専攻科（１年制）…廃止

夜間洋裁科		夜間和裁科	
普通科（修業年限６ヶ月）…廃止	研究科（修業年限６ヶ月）	普通科（修業年限６ヶ月）	研究科（修業年限６ヶ月）

昭和３７年　４月　１日　三島学園女子短期大学に体育科を開設する。

三島学園女子短期大学			
家政科	家政科第二部（夜間２年制）	別科被服専修第二部（夜間１年制）	体育科

昭和３８年　３月　１日　三島学園女子短期大学別科被服専修第二部（夜間１年制）を廃止する。

三島学園女子短期大学			
家政科	家政科第二部（夜間２年制）	別科被服専修第二部（夜間１年制）…廃止	体育科

夜間洋裁科	夜間和裁科	
研究科（修業年限６ヶ月）	普通科（修業年限６ヶ月）	研究科（修業年限６ヶ月）…廃止

昭和３９年　３月３１日

夜間洋裁科	夜間和裁科
研究科（修業年限６ヶ月）	普通科（修業年限６ヶ月）…廃止

昭和４０年　４月　１日　三島学園女子大学家政学部に生活理学科、生活美術学科を設置する。

三島学園女子大学		
家政学部		
家政学科	生活理学科	生活美術学科

夜間洋裁科
研究科（修業年限６ヶ月）…廃止

昭和４３年　４月　１日　三島学園女子高等学校に商業科を開設する。

三島学園女子高等学校					
普通科		美容科（別科、修業年限１年）	別科・専修科（修業年限２年）…廃止	夜間の定時制高校（修業年限４年）	商業科（３年制）

昭和４４年　３月　３日　三島学園女子短期大学附属丸田山ますみ幼稚園設置認可を受ける。同年４月１日開園する。

三島学園女子短期大学附属ますみ幼稚園	三島学園女子短期大学附属丸田山ますみ幼稚園

昭和４５年　３月３１日　三島学園女子中学校を廃止する。

三島学園女子中学校…廃止

昭和４６年　３月３１日　三島学園女子高等学校夜間の定時制高校（修業年限４年）を廃止する。

三島学園女子高等学校					
普通科		美容科（別科、修業年限１年）		夜間の定時制高校…廃止	商業科（３年制）

昭和４７年　３月３１日　三島学園女子大学家政学部生活理学科の学生募集を停止する。

昭和４９年　４月　１日　三島学園女子短期大学体育科廃止届出、受理される。

三島学園女子短期大学		
家政科	家政科第二部（夜間２年制）	体育科…廃止

昭和４９年１２月　２日　三島学園女子大学・三島学園女子短期大学・三島学園女子高等学校、仙台市清水小路三番地より泉市上谷刈字東伐生１４番地（現校地）に全面移転を完了する。

昭和５１年　３月３１日　三島学園女子大学家政学部生活理学科の廃止届出、受理される。

三島学園女子大学家政学部		
家政学科	生活理学科…廃止	生活美術学科

昭和５６年　４月　１日　三島学園女子短期大学附属丸田山ますみ幼稚園の名称を：三島学園女子短期大学附属虹の丘ますみ幼稚園と改称する認可がされる。

三島学園女子短期大学附属ますみ幼稚園	三島学園女子短期大学附属丸田山ますみ幼稚園→三島学園女子短期大学附属虹の丘ますみ幼稚園

昭和５７年　９月３０日　三島学園女子短期大学家政科二部の廃止認可を受ける。

昭和５９年　９月　三島学園女子短期大学に第二部（夜間２年制）を廃止する。

三島学園女子短期大学	
家政科	家政科第二部 （夜間２年制） …廃止

昭和６２年　４月　１日　三島学園女子大学の名称を東北生活文化大学に改称認可され、男女共学制に移行する。

三島学園女子大学 →東北生活文化大学	
家政学科	生活美術学科

昭和６２年　４月　１日　三島学園女子短期大学附属ますみ幼稚園、三島学園女子短期大学附属虹の丘ますみ幼稚園の名称を、それぞれ「ますみ幼稚園」、「虹の丘ますみ幼稚園」と改称する。

三島学園女子短期大学附属 ますみ幼稚園 →ますみ幼稚園	三島学園女子短期大学附属 虹の丘ますみ幼稚園 →虹の丘ますみ幼稚園

平成　５年　３月３１日　三島学園女子高等学校美容科（別科）を廃止する。

三島学園女子高等学校					
普通科		美容科 （別科、 修業年限１年） …廃止			商業科 （３年制）

平成１０年　３月３１日　虹の丘ますみ幼稚園を廃止する。

ますみ幼稚園	虹の丘ますみ幼稚園…廃止

平成１０年　４月　１日　三島学園女子高等学校普通科に、「生活文化コース」、「総合教養コース」及び「進学コース」を設置する。

三島学園女子高等学校					
普通科					商業科 （３年制）
生活文化コース	総合教養コース	進学コース			

平成１３年　４月　１日　三島学園女子短期大学の家政学科を生活文化学科に改称する。

三島学園女子短期大学
家政科 →生活文化学科

平成１３年　４月　１日　三島学園女子高等学校普通科に「美術コース」を設置する。

三島学園女子高等学校					
普通科					商業科 （３年制）
生活文化コース	総合教養コース	進学コース	美術コース		

平成１４年　４月　１日　三島学園女子高等学校に「保育コース」を設置する。

三島学園女子高等学校					
普通科					商業科 （３年制）
生活文化コース	総合教養コース	進学コース	美術コース	保育コース	

平成１５年　４月　１日　三島学園女子高等学校を東北生活文化大学高等学校と改称し、男女共学制を導入する。
東北生活文化大学高等学校商業科を「情報ビジネスコース」、「経営デザイン」の２コースに編成する。

三島学園女子高等学校 →東北生活文化大学高等学校						
普通科					商業科	
生活文化コース	総合教養コース	進学コース	美術コース	保育コース	情報ビジネスコース	経営デザイン

平成１５年　４月　１日　東北生活文化大学家政科学部家政学科に「家政学専攻」と「健康栄養学専攻」を設置する。

東北生活文化大学	
家政学部	
家政学科	生活美術学科
家政学専攻 / 健康栄養学専攻	

平成１６年　４月　１日　三島学園女子短期大学を東北生活文化大学短期大学部と改称し、男女共学制を導入する。

三島学園女子短期大学 →東北生活文化大学短期大学部
生活文化学科

平成１６年　４月　１日　ますみ保育園を開園し、ますみ幼稚園に併設する。

ますみ保育園

平成１７年　４月　１日　東北生活文化大学短期大学部生活文化学科に「生活学専攻」と「子ども生活専攻」を設置する。

東北生活文化大学短期大学部	
生活文化学科	
生活学専攻	子ども生活専攻

平成１９年　４月　１日　東北生活文化大学短期大学部生活文化学科に「生活学専攻」と「子ども生活専攻」を設置する。

東北生活文化大学		
家政学部		
家政学科		生活美術学科
家政学専攻 →服飾文化専攻	健康栄養学専攻	

平成２３年　４月　１日　東北生活文化大学高等学校普通科の「進学コース」を「総進コース」及び「啓進コース」に改編する。

東北生活文化大学高等学校							
普通科						商業科	
生活文化コース	総合教養コース	進学コース →総進コース	進学コース →啓進コース	美術コース	保育コース	情報ビジネスコース	経営デザイン

平成２３年　４月　１日　東北生活文化大学家政学部生活美術学科に、アートな職人コース、アートインストラクターコース、アーティストコース、デザイナーコースを設置する。

東北生活文化大学		
家政学部		
家政学科		生活美術学科
服飾文化専攻	健康栄養学専攻	アートな職人コース アートインストラクターコース アーティストコース デザイナーコース

平成２３年　４月　１日　東北生活文化大学短期大学部生活学専攻にフードエンタティメントコースを設置する。

東北生活文化大学短期大学部	
生活文化学科	
生活学専攻 フードエンタテイメントコース	子ども生活専攻

平成２５年　４月　１日　東北生活文化大学短期大学部に食物栄養学専攻を設置する。

東北生活文化大学短期大学部	
生活文化学科	
生活学専攻 →食物栄養学専攻	子ども生活専攻

平成２５年　４月　１日　東北生活文化大学高等学校に美術・デザイン科を設置する。

東北生活文化大学高等学校普通科の「総進コース」、「啓進コース」を「進学コース」、「特別進学コース」に改称する。

東北生活文化大学高等学校商業科の「経営デザインコース」を「進学ライセンスコース」に改称する。

東北生活文化大学高等学校							
普通科					商業科		
生活文化コース	総合教養コース	総進コース →進学コース	啓進コース →特別進学コース	保育コース	情報ビジネスコース	経営デザイン →進学ライセンスコース	美術・デザイン科

平成２５年　４月　１日　ますみ幼稚園、ますみ保育園の名称を、東北生活文化大学短期大学部附属ますみ幼稚園、東北生活文化大学短期大学部附属ますみ保育園に改称する。

ますみ幼稚園 →東北生活文化大学短期大学部附属ますみ幼稚園

ますみ保育園 →東北生活文化大学短期大学部附属ますみ保育園

平成２６年　３月３１日　東北生活文化大学短期大学部生活文化学科生活学専攻を廃止する。

平成２９年　４月　１日　東北生活文化大学高等学校の普通科「総合教養コース」と「生活文化コース」を統合し「未来創造コース」を設置する。

東北生活文化大学高等学校						
普通科				商業科		
生活文化コース、総合教養コース →未来創造コース	進学コース	特別進学コース	保育コース	情報ビジネスコース	進学ライセンスコース	美術・デザイン科

平成３１年　４月　１日　東北生活文化大学美術学部美術表現学科を設置する。

東北生活文化大学		
家政学部		美術学部
家政学科		美術表現学科
服飾文化専攻 服飾ビジネスコース 服飾生活コース	健康栄養学専攻	美術・工芸コース デザイン・メディア芸術コース

令和　４年　４月　１日　東北生活文化大学高等学校普通科に看護医療コースを設置する。

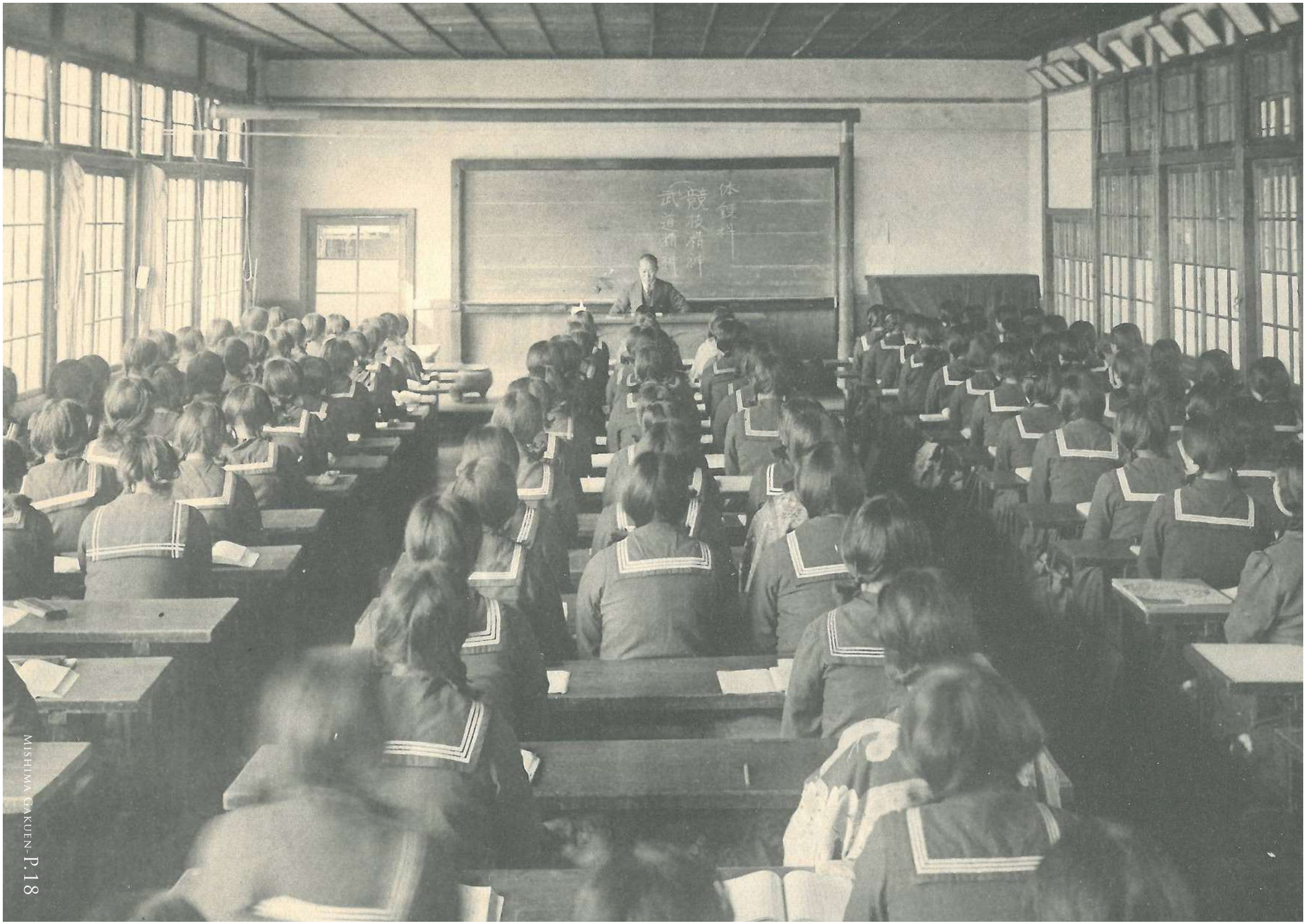
東北生活文化大学高等学校							
普通科					商業科		
未来創造コース	看護医療コース	進学コース	特別進学コース	保育コース	情報ビジネスコース	進学ライセンスコース	美術・デザイン科

令和　５年　３月３１日　東北生活文化大学高校普通科特別進学コースを廃止する。

東北生活文化大学高等学校							
普通科					商業科		
未来創造コース	看護医療コース	進学コース		保育コース	情報ビジネスコース	進学ライセンスコース	美術・デザイン科

令和　７年　４月　１日　　東北生活文化大学高校通信制課程普通科を設置する。

東北生活文化大学高等学校（全日制課程）							（通信制課程）
普通科				商業科			
未来創造コース	看護医療コース	進学コース	保育コース	情報ビジネスコース	進学ライセンスコース	美術・デザイン科	普通科


体錬科
競技指導科
武道指導科

東北生活文化大学 TOHOKU SEIKATSU BUNKA UNIVERSITY

「暮らしワクワク設計チーム」として服飾・栄養・美術の知識と技術を学び、地域の暮らしをデザインする力を育む

【所在地】〒981-8585 仙台市泉区虹の丘一丁目 18 番地の 2 **【ＴＥＬ】**022-272-7511 **【ＦＡＸ】**022-301-5602

【設　立】昭和 33（1958）年 1 月 10 日 **【学　長】**前田昌彦 **【副学長】**鈴木裕行 **【定　員】**家政学部　家政学科 58 名（服飾文化専攻 18 名・健康栄養学専攻 40 名）／美術学部　美術表現学科 50 名

【目的及び使命】三島学園建学の精神に基づいて、我が国の生活文化の向上を図るため、学術の中心として、幅広い教養を授けるとともに、深く生活と文化に関する専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させ、社会に貢献する人間性豊かな人材を育成することを目的とし、使命としている。

東北生活文化大学短期大学部 TOHOKU SEIKATSU BUNKA JUNIOR COLLEGE

「暮らしワクワク設計チーム」として栄養学・幼児教育・保育の知識と技術を学び、地域の暮らしをデザインする力を育む

【所在地】〒981-8585 仙台市泉区虹の丘一丁目 18 番地の 2 **【ＴＥＬ】**022-272-7511 **【ＦＡＸ】**022-301-5602

【設　立】昭和 26（1951）年 2 月 27 日 **【学　長】**前田昌彦 **【定　員】**食物栄養学専攻 40 名／子ども生活専攻 35 名

【目的及び使命】三島学園建学の精神に基づいて、我が国の生活文化の向上を図るため、生活と文化に関する専門の学芸を教授研究し、実学教育によって職業又は実際生活に必要な能力を養成し、社会に貢献する実践力のある人材を育成することを目的とし、使命としている。

東北生活文化大学高等学校（全日制課程・通信制課程） TOHOKU SEIKATSU BUNKA UNIVERSITY SENIOR HIGH SCHOOL

すべての生徒と先生との Friendship（きずな）

【所在地】〒981-8585 仙台市泉区虹の丘一丁目 18 **【ＴＥＬ】**022-272-7530 **【ＦＡＸ】**022-272-7523

【設　立】昭和 23（1948）年 3 月 31 日 **【校　長】**佐々木武弘 **【教　頭】**油井康浩、吉本世一

【定　員】390 名

【教育目標】「知性、感情、意思、能力、趣味が偏らない調和のとれた人」、「自愛からひろく他愛に及ぶ愛情豊かな人」、「空理空論に走らず小さな善でも勇敢に実行する実践力に富んだ人」の育成

東北生活文化大学短期大学部附属

ますみ幼稚園 MASUMI KINDERGARTEN

三島学園の校訓を踏まえ、命最優先の教育、一人一人に目をかけ声をかけ誠心誠意を注ぐ教育、
そして子どもから目をそらさず見限らない教育を基本理念にかかげる　調和、感性、実践力に富む子どもの育成を目指す

【所在地】〒982-0841 仙台市太白区向山四丁目 26-34 **【ＴＥＬ・ＦＡＸ】**022-225-5020

【設　立】昭和 30（1955）年 5 月 28 日 **【園　長】**武田早苗 **【定　員】**105 名

【教育目標】たのしく　やさしく　たくましく

○喜んで活動する子　○あいさつのできる子　○思いやりの深い子　○明るく元気な子

東北生活文化大学短期大学部附属

ますみ保育園 MASUMI NURSERY SCHOOL

子どもの最善の利益を第一義に考え、一人一人を大切にし、保護者から信頼される保育園を目指す

【所在地】〒982-0841 仙台市太白区向山四丁目 26-34 **【ＴＥＬ】**022-227-7080 **【ＦＡＸ】**022-227-7085

【設　立】平成 16（2004）年 4 月 1 日 **【園　長】**稲邉眞由美 **【定　員】**60 名

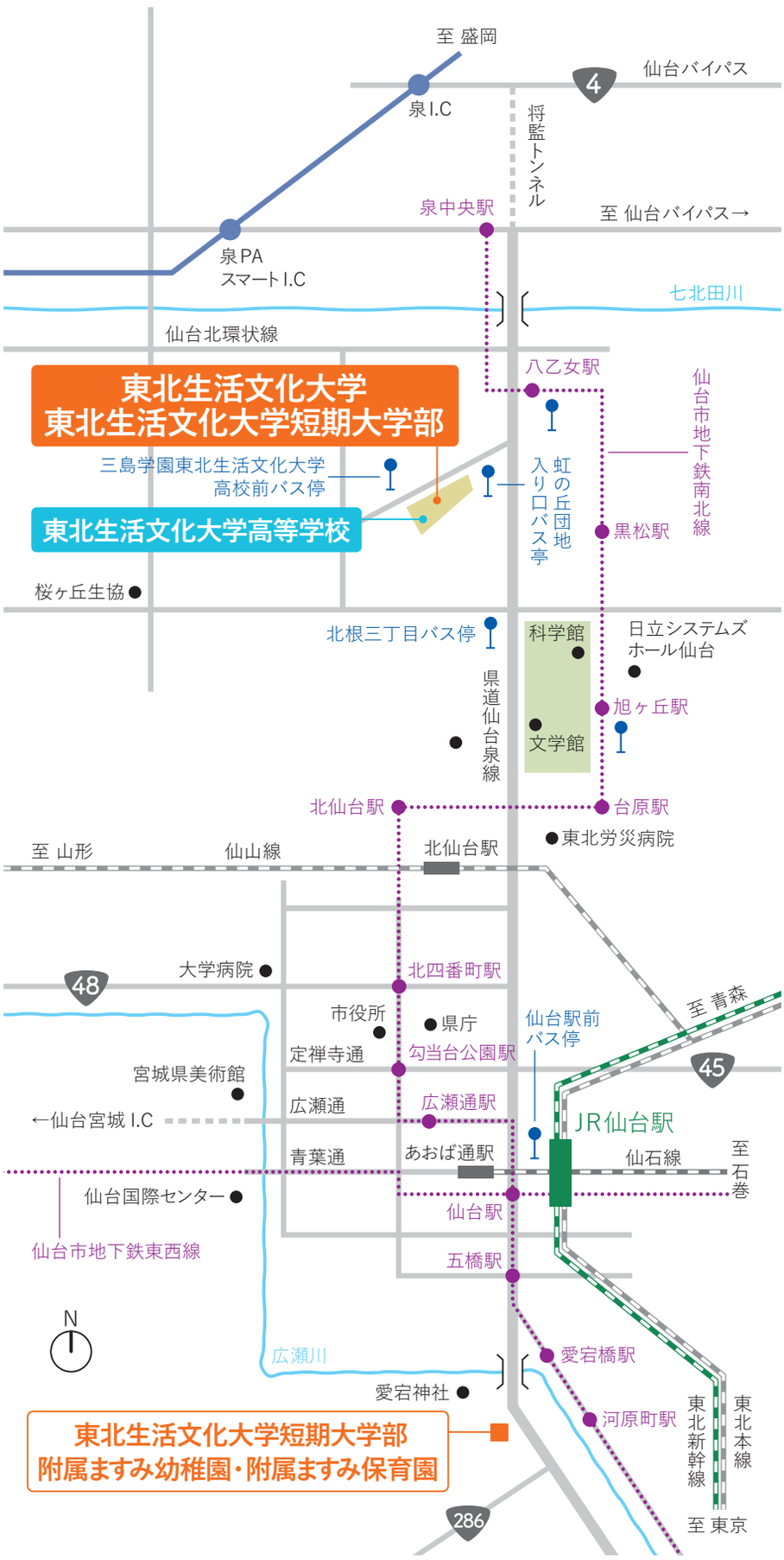
【保育方針】よく遊び、意欲的に生活できる子どもの育成と、保護者と共に育て合う保育を行う

○じょうぶな子ども　○友達と力を合わせる子ども　○思いやりのある子ども

○自分で考えて行動する子ども　○感性豊かな子ども

アクセス

■仙台駅方面からのアクセス



学校法人
三島学園

〒981-8585 仙台市泉区虹の丘一丁目18番地の2
TEL 022-272-7511(代)
FAX 022-272-7516
URL http://www.mishima.ac.jp
E-mail hojin@mishima.ac.jp